

基本施策

30

芸術文化によるまちづくりの推進

2029年のあるべき姿

本市の特色のある芸術文化を定着させ、市内外の認知度向上に努めるとともに、文化交流拠点の在り方を踏まえた館運営・事業展開を行い、豊かな人間性を育み、本市に愛着と誇りを感じるまちづくりをしています。また、文化財の保護にも力を入れ、文化財のより効果的な活用を努め、市民へ広く周知することによる郷土愛の醸成が図られています。

現状と課題

- 山陽小野田市文化会館は開設から27年が経過し、老朽化しています。市民ニーズや山陽小野田市民館との役割分担等、文化施設の在り方を踏まえながら、館運営や老朽化対策を行う必要があります。
- 「ガラス」や「かるた」によるまちづくりに取り組んでいますが、にぎわいの創出や市のイメージ向上など、文化によるまちづくりの実現には至っておらず、更なる取組が必要です。
- 文化活動の担い手や文化イベントへの参加者が固定化、高齢化しています。市民ニーズを踏まえた文化事業の展開が必要です。
- 本市には多くの国指定などの文化財がありますが、保存状態が悪いものや、市民の認知度が低いものがあります。
- 文化財を適切に収蔵し、また有効に活用するための施設が著しく老朽化しています。

4年間の目標

- 文化施設の適切な整備・運営
- 芸術文化推進の体制整備

第5章 教育・文化・スポーツ ～意欲と活力を育む学びのまち～

(2) 芸術文化活動の推進

市民の文化に触れる機会の充実のために、ピアノマラソン、市民文化祭などの特色ある事業は、更に発展させ、芸術文化活動を推進するとともに、重点的に取り組んでいる「ガラス」や「かるた」については、まちのにぎわいの創出や市のイメージ向上に繋がる事業を展開します。

【評価指標】

指標	説明	現状値	中期目標値 (令和7年度)
市内のかるた競技団体数 (部活を含む)	—	(令和2年度) 4 団体	7 団体
ガラス体験者数	—	(令和元年度) 5,281 人	5,500 人

主要
事業

■文化によるまちづくり推進事業
■ガラス文化推進事業

■芸術文化活動支援育成事業
■世代別市民文化度育成事業

(3) 文化財の保護・活用

地域の伝統・文化の象徴である財産を適切に保存・管理し、その活用を図るとともに、そのために必要となる施設等の整備・改修に取り組みます。また市民の郷土愛の醸成を図るため、ふるさと文化遺産*の登録や地域・学校と連携した文化財活用の取組、歴史民俗資料館の充実を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値	中期目標値 (令和7年度)
文化財をテーマとした地域・学校との連携事業の参加者数	—	(令和2年度) 300 人	1,000 人
歴史民俗資料館企画展来場者数	—	(令和元年度) 2,943 人	3,500 人

主要
事業

■文化財保護活用事業
■文化財保存整備事業

■文化財保存展示事業(歴史民俗資料館)

関連する個別計画

- 山陽小野田市文化振興ビジョン (平成 24 年度～令和 3 年度)

基本施策30 芸術文化によるまちづくりの推進

○あるべき姿

本市の特色のある芸術文化を定着させ、市内外の認知度向上に努めるとともに、文化施設の安全性の確保と利便性の向上を図り、持続可能な運営を行うことで、豊かな人間性を育み、本市に愛着と誇りを感じるまちづくりをしています。また、文化財の保護や効果的な活用に努め、ふるさと文化遺産や講演会等を通じて市民へ広く周知し、郷土愛の醸成が図られています。

○現状と課題

- ・山陽小野田市文化会館は開設から31年が経過し、老朽化が顕著となっているため、本市の「文化芸術の中核拠点」として、市民ニーズや山陽小野田市民館との役割分担等を踏まえながら、館運営や改修を行う必要があります。
- ・「ガラス」や「かるた」によるまちづくりに取り組んでいますが、にぎわいの創出や市のイメージ向上など、文化によるまちづくりの実現には至っておらず、更なる取組が必要です。
- ・文化活動の担い手や文化イベントへの参加者が固定化、高齢化しています。市民ニーズを踏まえた文化事業の展開が必要です。
- ・文化財を良好な状態に保ち、公開・活用を通じて、市民の文化財への関心を持ってもらう必要があります。
- ・文化財を適切に収蔵する場所の確保や文化財の活用を見据えた施設整備を検討する必要があります。

○4年間の目標

- ・文化施設の適切な整備・運営
- ・芸術文化推進の体制整備
- ・「ガラス」や「かるた」を中心とした芸術文化によるまちづくりの推進
- ・市民ニーズを踏まえた文化事業の推進
- ・地域、学校と連携した文化財の保護・活用
- ・市民の関心を高め、親しみをもてる文化財の活用
- ・文化財の保存・活用計画に沿った整備や保存管理

○目標指標

指標	説明	単位	現状値		目標値	
芸術文化の創作活動、行事への参加、鑑賞機会がある人の割合	総合計画策定に係る市民アンケート	点	46.2	R6	55.0	R11
市の歴史や文化に愛着を感じる人の割合		点	52.1	R6	57.0	R11

基本事業3 文化財の保護・活用

市民の郷土愛の醸成を図るため、地域の伝統・文化の象徴である財産を適切に保存・管理・デジタル化し、その活用を図るとともに、そのために必要となる施設等の整備・改修に取り組みます。また、ふるさと文化遺産の登録や地域・学校と連携した文化財活用の取組、歴史民俗資料館の充実を図ります。

○評価指標

指標	説明	単位	現状値		目標値	
文化財をテーマとした地域・学校との連携事業の参加者数	—	人	973	R6	1,000	R11
歴史民俗資料館企画展来場者数	—	人	2,940	R6	3,500	R11

○主要事業

- ・文化財保護活用事業
- ・文化財保存整備事業
- ・文化財保存展示事業（歴史民俗資料館）

○関連個別計画

- ・山陽小野田市文化芸術振興ビジョン（令和4年度～令和12年度）